

【図1】入院 30～49歳女性患者さん評価



【図2】外来 30～49歳女性患者さん評価



【図3】入院 高学歴高収入患者さん評価



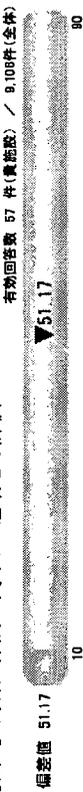
【図4】外来 高学歴高収入患者さん評価



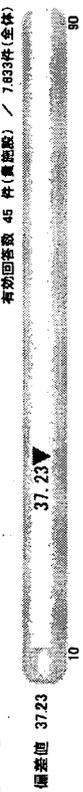
【図5】入院 体調の良い患者さん評価



【図6】外来 体調の良い患者さん評価



【図7】入院期間の短い患者さん評価



【図8】待ち時間の長い外来患者さん評価



4. 10の医療サービスオリティ ポイント ランキング 2004年-2005年

1.) 全般的な患者満足度の強みと弱み、2004年-2005年(右-左)
 【解説】医療サービスオリティ(資料編参照)の10側面についてベンチマークした結果を示す。表中「昇降」は2004年度からの偏差値の昇降を示している。ただし、2004年度と2005年度では、分析の手法および、調査参加施設が異なっているため同じ条件での比較ではない、参考としていただきたい。また、表中、偏差値50以上を「青色」、偏差値50未満を「赤色」で示している。

【使用したデータ】サービスオリティポイント(調査票の1P～3Pの行為質問に埋め込まれた10サービスオリティの集計平均値。(以下同じ))

【データの重付け】あり(以下同じ)
 ※2004年度、2005年度の偏差値昇降はデータベースで集計しているため、表中では小数点以下2位で誤差が生じる場合がある。

2.) 入院の強みと弱み(右-図2)

【解説】入院の医療サービスオリティの10側面をレーダーチャートで示す。図中、軸は偏差値を示しており外へ向かうほど偏差値が高い。赤い線は2004年度の偏差値を示し、青い線は2005年度の偏差値を示している。また、各サービスオリティ項目に付帯する括弧内の数値は、その項目の貴施設の2005年度の順位である。レーダーチャートのデータ図が大きいほど全国と同機能同規模施設での偏差値が高く、形が緩いほどサービスオリティのバランスが良い。レーダーチャートの右半分、コミュニケーションから患者理解までは人の要因を示す。左半分、入平容易性からアメニティまでは人以外の要因を示す。右半分が、左半分と比較して大きく膨らんでいる場合、患者さんは医師スタッフには満足しているが、それ以外の要因、例えば設備やルール、施設の環境などに不満を持っていると考えられる。逆に左半分が、右半分と比較して大きく膨らんでいる場合、患者さんは設備やルール、施設の環境には満足しているが、医師スタッフには不満を持っていると考えられる。

※2004年度調査に不参加の場合、またはデータ件数が少なかった場合には、2004年度データ(赤い線)が表示されない。

3.) 外来の強みと弱み(右-図3)

【解説】入院と同様

★機能規模別 10の医療サービスオリティ ポイント ランキング バストグラフオリア施設(上位1位)

ランキング項目	入院 139施設中			外来 134施設中		
	上位1位 施設名	偏差値	全国寄数	上位1位 施設名	偏差値	全国寄数
コミュニケーション	健康保険連早稲谷病院	68.74	218	済生会熊本病院	79.88	268
職員能力	健康保険連早稲谷病院	68.61	218	柳原記念病院	79.10	95
ていねいさ	健康保険連早稲谷病院	68.63	218	済生会熊本病院	78.87	268
反応のよさ	済生会熊本病院	68.56	301	柳原記念病院	79.01	95
患者理解	健康保険連早稲谷病院	68.87	218	済生会熊本病院	78.98	268
入平容易性(7クセスの容易性)	西宮病院	69.20	40	耳鼻咽喉科緑生病院	74.01	236
プライバシー保護	済生会熊本病院	65.99	301	済生会熊本病院	79.22	268
信頼性	健康保険連早稲谷病院	67.57	218	済生会熊本病院	78.88	268
安全性	健康保険連早稲谷病院	69.34	218	済生会熊本病院	79.87	268
アメニティ	済生会熊本病院	68.86	74	柳原記念病院	79.13	95

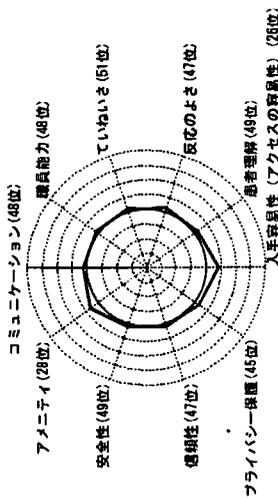
【図1】

	入院		外来	
	2005 139 施設中 順位	2004 得票数 (得票数)	2005 134 施設中 順位	2004 得票数 (得票数)
100の医療サービスオリティ				
コミュニケーション	118位	42.64	48位	52.43
職員能力	116位	43.37	48位	51.97
ていねいさ	116位	42.35	51位	52.05
反応のよさ	108位	44.37	47位	52.69
患者理解	115位	43.52	49位	52.15
人以外の原因				
コミュニケーション	87位	47.21	28位	56.31
コミュニケーション	119位	42.78	45位	52.11
信頼性	115位	43.05	47位	52.29
安全性	117位	42.45	49位	52.00
アメニティ	94位	47.49	29位	56.84

【図2】 入院 強みと弱み



【図3】 外来 強みと弱み



5. 部門別 職種別 サービス実行ポイント ランキング 2004年-2005年

1.) 部門別 職種別 サービス実行ポイント 2004年-2005年(右-図1)
 【解説】 職種別 部門別にベンチマークした結果を示す。表1(右欄)は2004年度からの偏差値の昇降を示している。ただし、2004年度と2005年度では、分析の手法および 調査参加施設が異なっているため全く同じ条件での比較ではない、参考としていただきたい。なお、薬剤師とリハビリのスタッフは、2001年度データはない。

【使用したデータ】 サービス実行ポイントから各部門、職種に開示するポイントを集計。(以下同じ)
 【データの重付け】 あり(以下同じ)
 ※2004年度、2005年度の偏差値昇降はデータベースで集計しているため、表中では小数点以下2位で誤差が生じる場合がある。

2.) 入院における部門別 職種別 サービス実行ポイント 2004年 2005年(右-図2)
 【解説】 入院の部門別 職種別の患者満足度をレーダーチャートで示す。図1、軸は偏差値を示しており外へ向かうほど偏差値が高い。赤い線は2004年度の偏差値を示し、青い線は2005年度の偏差値を示している。また、各サービスオリティ項目に付帯する括弧内の数値は、その項目の貴施設の2005年度の順位である。レーダーチャートのデータ図が大きいほど全国と同機能同規模施設での偏差値が高く、形が整えば施設全体の患者満足度のバランスが良い。なお、薬剤師とリハビリのスタッフについては、参加全施設を通じて回答数が少ないため、レーダーチャートからは除外した。

※2004年度調査に不参加の場合、またデータ件数が少なかつた場合には、2004年度データ(赤い線)が表示されない。

3.) 外来における部門別 職種別 サービス実行ポイント 2004年-2005年(右-図3)
 【解説】 入院と同様

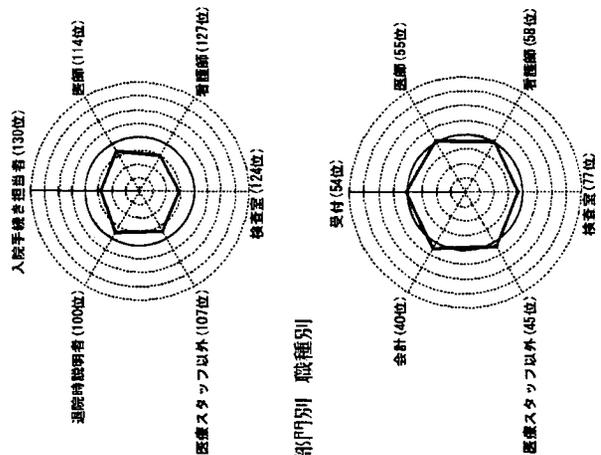
★機能規模別 部門別 職種別 サービス実行ポイント ランキング バストアグテイス施設(上位1位)

ランキング項目	入院			外来		
	対象施設数	上位1位 施設名	偏差値	対象施設数	上位1位 施設名	偏差値
入院手続き担当者	139	西宮病院	73.99	40		
受付				134	順徳記念病院	79.29
医師	139	西宮病院	66.89	40	済生会熊本病院	80.22
看護師	139	徳島県立徳島中央病院	66.96	218	順徳記念病院	72.98
検査室	139	社会医療財団順徳病院	67.50	50	済生会熊本病院	76.16
薬剤師(説明)	139	徳島県立徳島中央病院	66.97	218	済生会熊本病院	80.12
リハビリのスタッフ	123	国立西崎玉中央病院	73.41	46	済生会熊本病院	78.52
医療スタッフ以外	139	済生会西宮病院	68.37	74	順徳記念病院	80.84
遠隔地説明者	139	おびひろ医療福祉内科病院	74.08	26		
合計				134	順徳記念病院	82.08

【図1】

部門別 職種別	2005年度		2004年度		昇降 (隔差値)
	対象施設数	職位	隔差値	隔差値	
入院手続担当者	139	130位	37.82		
医師	139	114位	43.59		
看護師	139	127位	39.99		
検査室	139	124位	39.15		
薬剤師(説明)	139	130位	39.65		
リハビリのスタッフ	123	104位	40.56		
医療スタッフ以外(売店員、清掃員、警備員など)	139	107位	43.96		
退院時説明者	139	100位	45.00		
受付	134	54位	50.95		
医師	134	55位	51.01		
看護師	134	66位	50.32		
検査室	134	77位	46.82		
薬剤師	134	72位	49.16		
リハビリのスタッフ	132	47位	63.74		
医療スタッフ以外(守衛、警備員など)	134	45位	53.33		
合計	134	40位	54.68		

【図2】 入院 部門別 職種別



【図3】 外来 部門別 職種別

6. 医師のサービスクオリティ ポイント ランキング 2004年-2005年

1.) 医師のサービスクオリティ ポイント 2004年-2005年(右-図1)
 【解説】 医師のサービスクオリティをベンチマークした結果を示す。右-図1(折線)は2004年度からの隔差値の昇降を示している。ただし、2004年度と2005年度では、分析の手法および、調査参加施設が異なっているため全く同じ条件での比較ではない。参考としていただきたい。
 【使用したデータ】 サービスクオリティポイントから医師に関連するポイントを集計。(以下同じ)
 ※2004年度、2005年度の隔差値算出はデータベースで集計しているため、表中では小数点以下2位で隔差が生じる場合がある。

2.) 入院患者さんの医師のサービスクオリティ ポイント 2004年-2005年(右-図2)
 【解説】 入院患者さんの医師のサービスクオリティへの評価をレーダーチャートで示す。図中、軸は隔差値を示しており外へ向かうほど隔差値が高い。赤い線は2004年度の隔差値を示し、青い線は2005年度の隔差値を示している。また、各サービスクオリティ項目に付帯する括弧内の数値は、その項目の施設での2005年度順位である。レーダーチャートのデータ図が大きいほど全国と同様隔差値での隔差値が高く、形が整ったほど医師のサービスクオリティのパフォーマンスが良い。

※2004年度調査に不参加の場合、またデータ件数が少なかった場合には、2004年度データ(赤い線)が表されない。
 3.) 外来患者さんの医師のサービスクオリティ ポイント 2004年-2005年(右-図3)
 【解説】 入院と同様

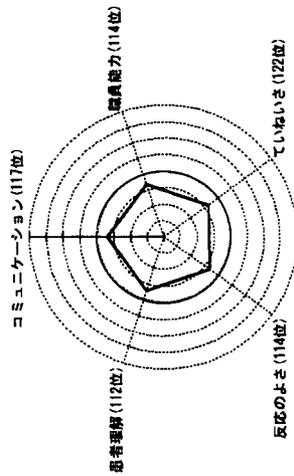
★機能別隔差別 医師のサービスクオリティ ポイント ランキング ベストプラクティス施設(上位1位)

ランキング項目	入院 139施設中			外来 134施設中		
	上位1位 施設名	隔差値	全回答数	上位1位 施設名	隔差値	全回答数
コミュニケーション	健康保険組合総合病院	68.59	218	済生会熊本病院	81.73	266
職員能力	西宮病院	68.89	40	済生会熊本病院	80.27	266
ていねいさ	西宮病院	70.04	40	済生会熊本病院	80.11	266
反応のよさ	西宮病院	70.13	40	済生会熊本病院	79.61	266
患者理解	健康保険組合総合病院	80.25	218	済生会熊本病院	80.77	266

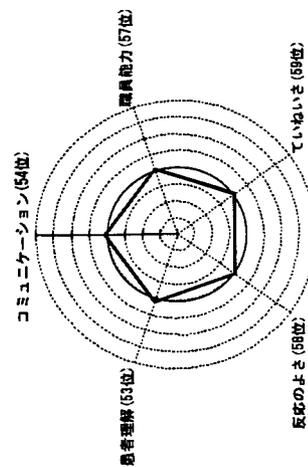
【図1】

医療のサービスクオリティポイント(人の要因)	入院		外来	
	2005.139 施設中 順位	2004 得点値 (満点値)	2005.144 施設中 順位	2004 得点値 (満点値)
コミュニケーション 患者さんの言葉で正確にわか りやすく説明されていること	117位	43.79	54位	51.20
職員能力 職員は必要な技術と知識を身 につけていること	114位	43.59	57位	50.85
ていねいさ 職員が親切で思いやりがあり ていねいであること	122位	42.70	59位	50.58
反応のよさ 職員が患者さんの要求や問 題に迅速かつ創造的に対応し ていること	114位	43.81	58位	50.63
患者理解 職員が患者さんニーズを理解 するよう努力し注意を払ってい ること	112位	44.29	53位	52.29

【図2】 入院 医師のサービスクオリティポイント



【図3】 外来 医師のサービスクオリティポイント



7. 印象と実際に受けている医療サービスレベルの差

1.) 入院における「印象」と「行為」の差(右-図1)

【解説】入院調査は回答者が入院決定から退院までを回顧しながら回答できるように、入院前、入院中、退院の場面に分けられている。また、調査票は回答者に対して「どう思ふか、どう感じるか」など、施設と医療サービスに対するイメージや印象、思いなどを問っている設問と、「やってみようか、その方がいいか」と、事実や体験を聞く設問の2種類がある。調査結果からは「印象は良いが、医療サービスの実のレベルがどうも足りない(負評)施設」や、「医療サービスの失敬のレベルは高いのに印象が悪くない(PRや演出不足)施設」などを評価することができる。さらに、どのシーンをベースステージに問題があるのか把握することができる。

図で最も上に位置しているデータが、本調査に参加した全施設から選出された上位モデルである。患者満足度の高い施設では入院から退院までのすべてのシーンを通じて、印象データよりも行為データが高いか、ほぼ同じという特徴がある。また入院から退院時に向けて右肩上がりになる点が、患者満足度の高い施設の特徴でもある。

図で最も下に位置している2つのデータが下位モデルである。行為データが印象データを下回るシーンが多い。患者さんから見れば「良い病院だと思っているが、実際は良い体験サービスを受けてはいない」ということになる。上位モデルが退院に向けて右肩上がりがある、いわば「総わり良ければすべて良い」の形を描くのに対して、下位モデルは右肩下がりが特徴である。

図の中央に位置しているデータが真施設である。全体にどのような形を描くか、またどのシーンでのサービスレベルが高いか、低いかを確認していただきたい。

【利用したデータ】入院前、入院中の診療、退院のサービス印象ポイント(1P~3P)の全印象設問中、全患者さんが体験する項目の集計平均値、サービス実行ポイント。(以下同じ)

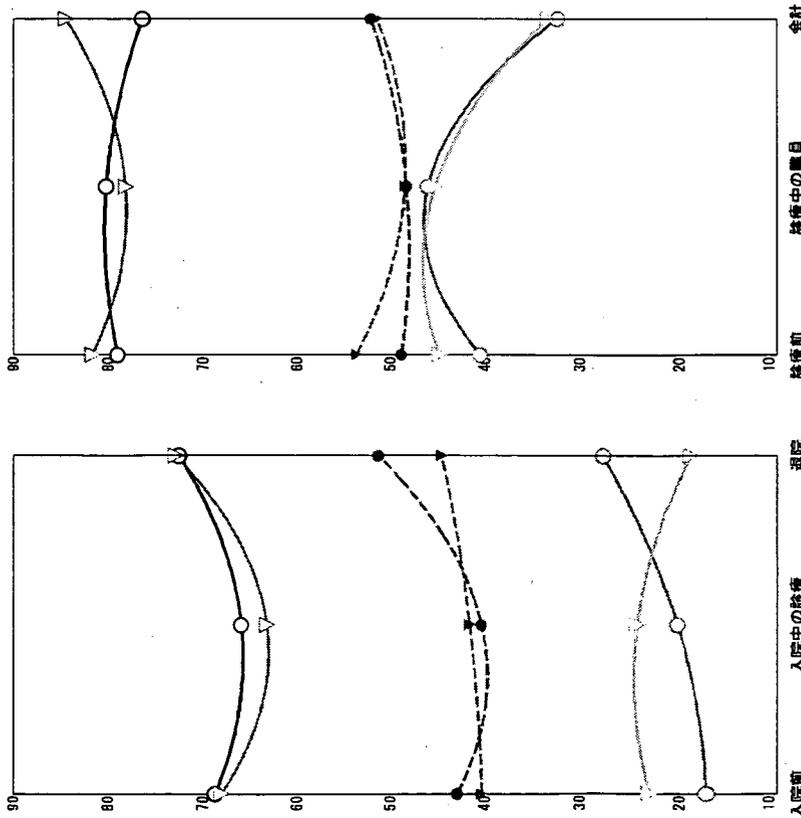
【データの重付け】あり(以下同じ)

2.) 外来における「印象」と「行為」の差(右-図2)

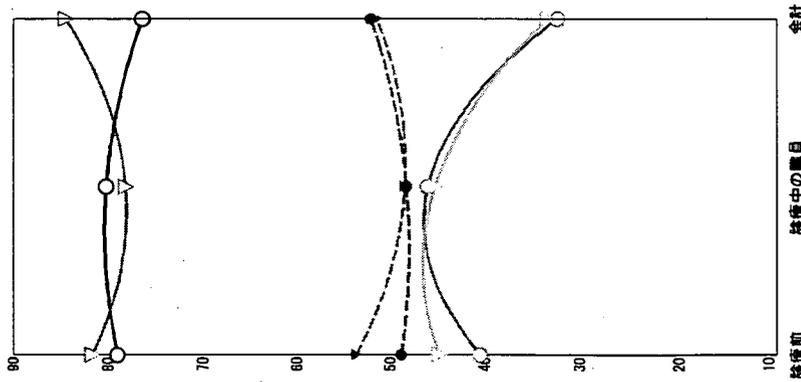
【解説】外来調査では、シーンは診察前、診察中、会計の場面に分けられている。その他は入院調査の解説に同じである。

【利用したデータ】診察前、診察中、会計のサービス印象ポイント、サービス実行ポイント。

【図1】入院 印象と行為



【図2】外来 印象と行為



8. 印象と実際に受けている医療サービスレベルの差 詳細

1.) 入院における「印象」と「行為」の詳細(左-図1)
 【解説】印象と行為の差の傾向を示す。前述のシーンを9に細分し、手術とリハビリテーションを除く17項目を次の5つに分類した。

- ・全国レベルで、印象が良く実際のサービスレベルも高い項目
- ・全国レベルで、印象が良いが実際のサービスレベルは低い項目
- ・全国レベルで、実際のサービスレベルが低く、印象も悪い項目
- ・全国レベルで、実際のサービスレベルが低く、印象も悪い項目

【使用したデータ】 サービス印象ポイント、サービス実行ポイント(以下同じ)
 【データの重付け】 なし(以下同じ)

2.) 外来における「印象」と「行為」の詳細(右-図2)
 【解説】 外来ではシーンを14に細分し、検査、点滴・注射・薬、リハビリテーションを除く11項目を分類した。
 その他は入院調査の解釈に同じである。

3.) 入院、外来データ(下-図3)
 【解説】 入院17項目と外来11項目のサービス印象ポイントとサービス実行ポイントを示した。

※グラフ特性により、表中数値とグラフ上のデータラベル位置が一致しない場合がある。

【図3】

入院項目ラベル	偏差値		外来項目ラベル	偏差値	
	印象	行為		印象	行為
① 入院前医師の説明	52.28	50.23	① 病院の利便性	49.80	58.90
② 入院手続き	48.53	44.16	② 病院の印象	56.65	56.30
③ 入院生活の説明	33.18	34.70	③ 待ち時間	40.34	43.84
④ 医師の態度と言葉遣い	40.94	41.21	④ 待合室	49.59	52.82
⑤ 医師の技術や知識	41.21	44.78	⑤ 医師の態度と言葉遣い	49.18	48.68
⑥ 看護師の態度/言葉遣い/知恵	41.99	42.91	⑥ 医師の知識や技術	47.17	50.77
⑦ 入院中の介助	41.37	41.34	⑦ 看護員の態度/言葉遣い/知恵	50.50	50.17
⑧ スタッフのチームワーク	40.55	39.96	⑧ 治療と処置	47.75	45.18
⑨ 検査	45.23	39.38	⑨ 診察室の環境	50.17	51.88
⑩ 治療と処置	44.23	37.05	⑩ その他の設備や環境	49.98	52.57
⑪ 点滴/注射/薬	41.97	34.22	⑪ 会計手続き	51.99	51.38
⑫ トイレと浴室	42.88	44.13			
⑬ 廊下/階段/エレベータ	47.66	47.46			
⑭ 病室内環境	53.24	49.45			
⑮ 食事	47.29	44.78			
⑯ その他の設備や環境	51.89	48.83			
⑰ 退院の説明	51.25	44.53			

7. 印象と実際に受けている医療サービスレベルの差

1.) 入院における「印象」と「行為」の差 (右-図1)

【解説】入院調査票は回答者が入院決定から退院までを回想しながら回答できるように、入院前、入院中、退院の場面に分けて回答している。また、調査票は回答者に対して「どう思いか、どう感じるか」など、施設と医療サービスに対するイメージや印象、思いなどを問っている設問と、「やってもなかったか、そうやっていなかっただろうか」など、事実や体験を問う設問の2種類がある。調査結果からは「印象は良いが、医療サービスの現実のレベルがとまどわぬ(見掛け倒し)施設」や「医療サービスの実際のレベルは高いのに印象が悪く(PRや演出不足)施設」などを評価することができる。さらに、どのシーンやステージにも問題があるのかを把握することができる。

図で最も上に位置しているデータが、本調査に参加した全施設から選出された上位モデルである。患者満足度の高い施設では入院から退院までのすべてのシーンを通じて、印象データより行為データが高いか、ほぼ同じという特徴がある。また入院から退院時に向けて右肩上がりになる点も、患者満足度の高い施設の特徴でもある。

図で最も下に位置している2つのデータが下位モデルである。行為データが印象データを下回るシーンが多く、患者さんから見れば「良い病院だと思っているが、実際は良い医療サービスを受けてはいない」ということになる。上位モデルが退院に向けて右肩上がりがある、いわば「盛り返り」長ければ長ければ良いという形を描くのと対して、下位モデルは右肩下がりが特徴である。

図の中央に位置しているデータが普通施設である。全体にどのような形を描くか、またどのシーンでのサービスレベルが高いか、低いかを確認していただきたい。

【使用したデータ】入院前、入院中の診療、退院のサービス印象ポイント(1P~3P)の全印象設問中、全患者さんが体験する項目の集計平均値)、サービス実行ポイント。(以下同じ)

2.) 外来における「印象」と「行為」の差 (右-図2)

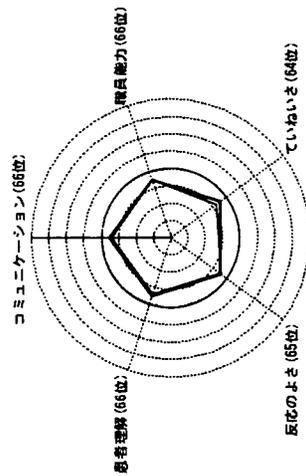
【解説】外来調査票では、シーンが診療前、診療中、会計の場面に分けられている。その他は入院調査の解説に同じである。

【使用したデータ】診療前、診療中、会計のサービス印象ポイント、サービス実行ポイント。

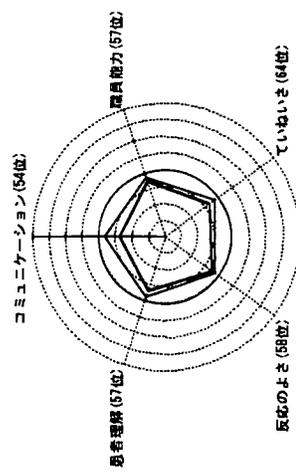
【図1】

医師のサービスオリエンティンポイント(人の要因)	入院			外来		
	2005.80	2004	2005.78	2004	2005.78	2004
	順位	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値
患者さんの言葉で正確にわか りやすく説明されていること	66位	46.85	44.60	45.85	54位	37.09
職員は必要な技術と知識を身 につけていること	65位	45.05	44.81	45.05	57位	44.81
職員が親切で思いやりがあり ていねいであること	64位	45.38	45.38	45.51	64位	43.28
職員が患者さんの要求や問 題に迅速かつ断定的に対応し ていること	65位	45.92	45.17	45.92	58位	45.29
職員が患者さんニーズを理解 するよう努力に注意を払ってい ること	66位	45.44	44.47	45.44	57位	43.64
患者理解						47.73
反応のよさ						4.09

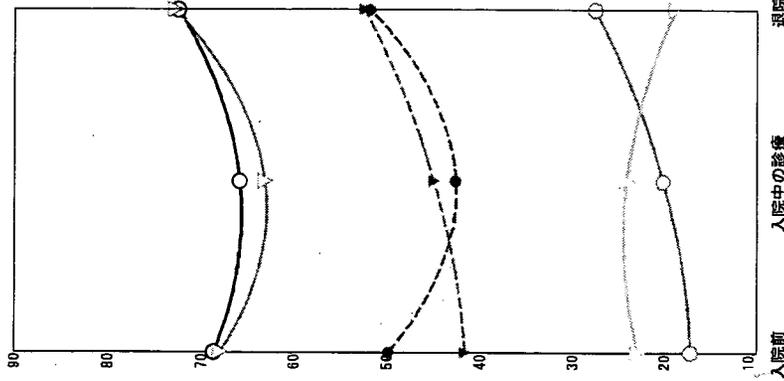
【図2】 入院 医師のサービスオリエンティンポイント



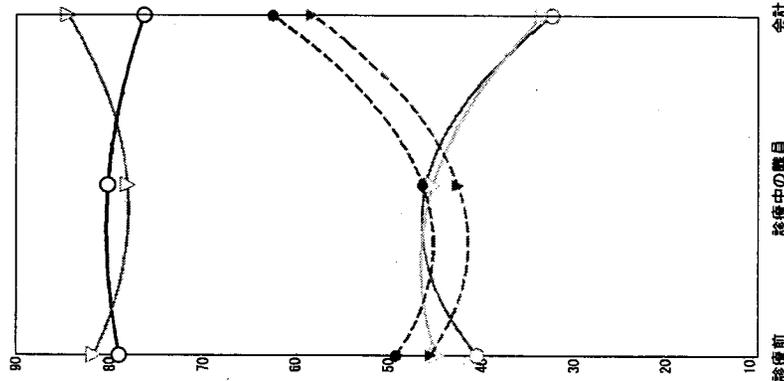
【図3】 外来 医師のサービスオリエンティンポイント



【図1】入院 印象と行為



【図2】外来 印象と行為



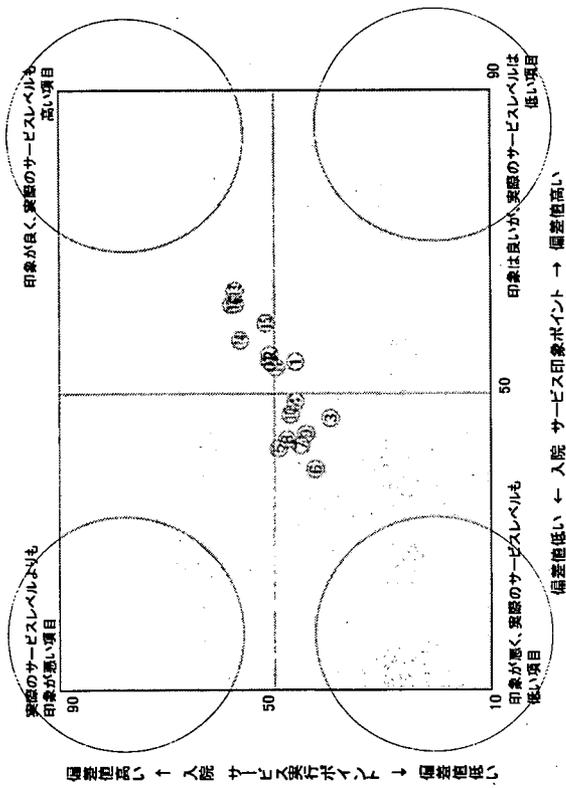
8. 印象と実際に受けている医療サービスレベルの差 詳細

- 1.) 入院における「印象」と「行為」の詳細(左-図1)
 【解説】印象と行為の差の詳細を示す。前述のシーンを更に細分し、手術とリハビリテーションを除く17項目を次の4つに分類した。
 ・全国レベルで、印象が良く実際のサービスレベルも高い項目
 ・全国レベルで、印象が良いが実際のサービスレベルは低い項目
 ・全国レベルで、実際のサービスレベルよりも印象が悪い項目
 ・全国レベルで、実際のサービスレベルが低く、印象も悪い項目
 【使用したデータ】 サービス印象ポイント、サービス実行ポイント(以下同じ)
 【データの重付け】 なし(以下同じ)
- 2.) 外来における「印象」と「行為」の詳細(右-図2)
 【解説】 外来ではシーンを14に細分し、検査、点滴・注射・薬、リハビリテーションを除く11項目を分類した。
 その他は入院調査の解説に同じである。
- 3.) 入院、外来データ(下-図3)
 【解説】 入院17項目と外来11項目のサービス印象ポイントとサービス実行ポイントを示した。
 ※グラフ特性により、表中数値とグラフ上のデータラベル位置が一致しない場合がある。

【図3】

入院項目ラベル		備差値		外来項目ラベル		備差値	
印象	行為	印象	行為	印象	行為	印象	行為
① 入院前医師の説明	51.73	44.55	① 病院の利便性	48.70	35.73		
② 入院手続き	52.66	52.43	② 病院の印象	45.83	43.34		
③ 入院生活の説明	46.53	37.99	③ 待ち時間	45.69	42.79		
④ 医師の態度と言葉遣い	48.49	44.60	④ 待合室	54.39	55.98		
⑤ 医師の技術や知識	42.23	50.78	⑤ 医師の態度と言葉遣い	46.38	41.77		
⑥ 看護師の態度/言葉遣い/処置	39.40	40.89	⑥ 医師の知識や技術	45.35	42.61		
⑦ 入院中の介助	42.64	43.58	⑦ 看護師の態度/言葉遣い/処置	49.23	45.60		
⑧ スタッフのチームワーク	43.46	48.21	⑧ 治療と処置	43.42	41.37		
⑨ 検査	44.35	42.58	⑨ 診察室の環境	54.16	50.89		
⑩ 治療と処置	47.05	45.58	⑩ その他の設備や環境	55.80	57.03		
⑪ 点滴/注射/薬	50.98	48.25	⑪ 会計手続き	62.48	56.24		
⑫ トイレと浴室	59.55	59.67					
⑬ 廊下/階段/エレベータ	61.43	59.08					
⑭ 病室内環境	54.66	56.08					
⑮ 食事	57.00	53.17					
⑯ その他の設備や環境	59.88	59.02					
⑰ 退院の説明	51.80	52.45					

【図1】

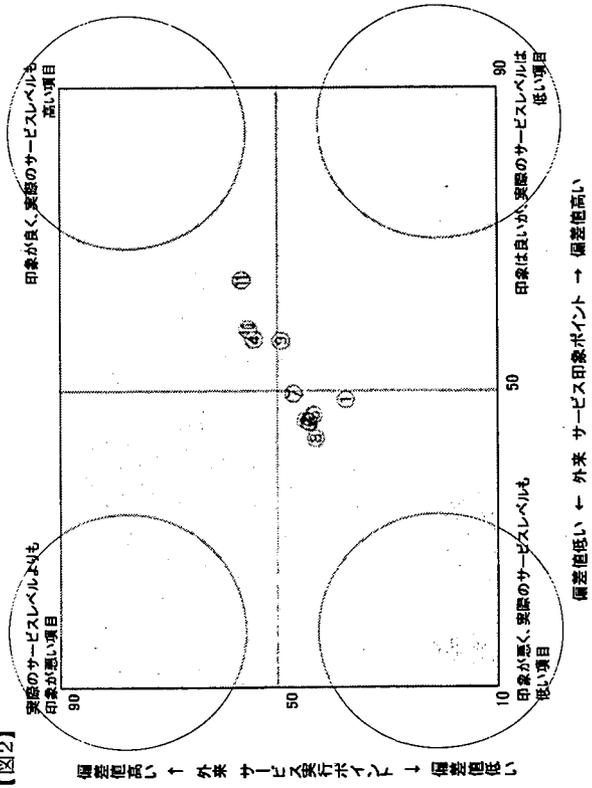


偏差値高い ↑ 入院 サービス実行ポイント ↓ 偏差値低い

9. 入院期間比較

- 1.) 入院期間比較(右-図1)
 【解説】入院期間比較を示した6つに区分された入院期間の患者さんが同機能同規模施設平均と比較して多い少ないかがわかる。
 【使用したデータ】入院調査票の入院期間
 【データの重付け】なし
- 2.) 入院期間別満足度(右-図2)
 【解説】入院期間別に患者さんが評価したサービス実行ポイントを示した。入院期間の下は案件数である。
 【使用したデータ】サービス実行ポイントと入院期間別のクロス集計。
 【データの重付け】なし

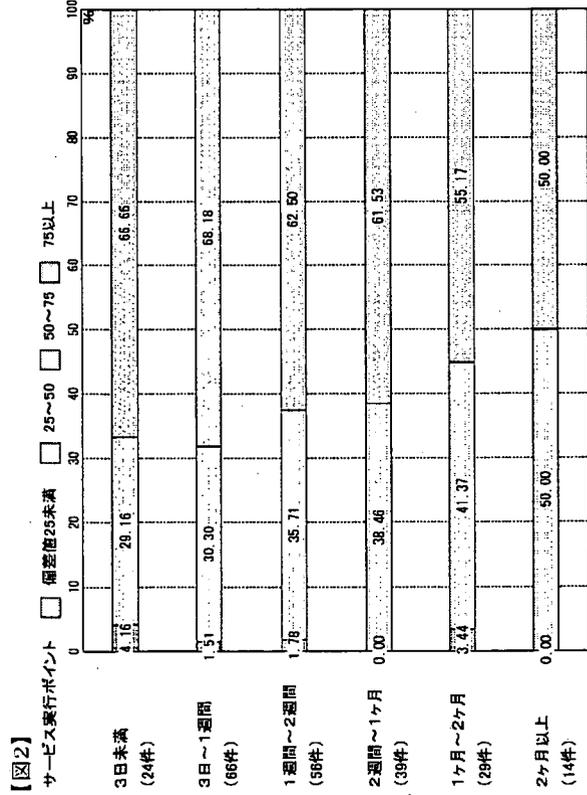
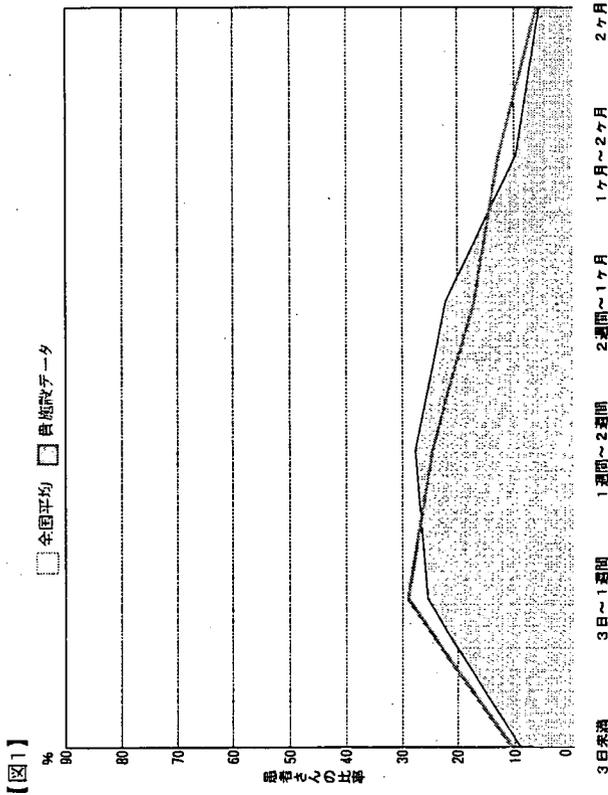
【図2】



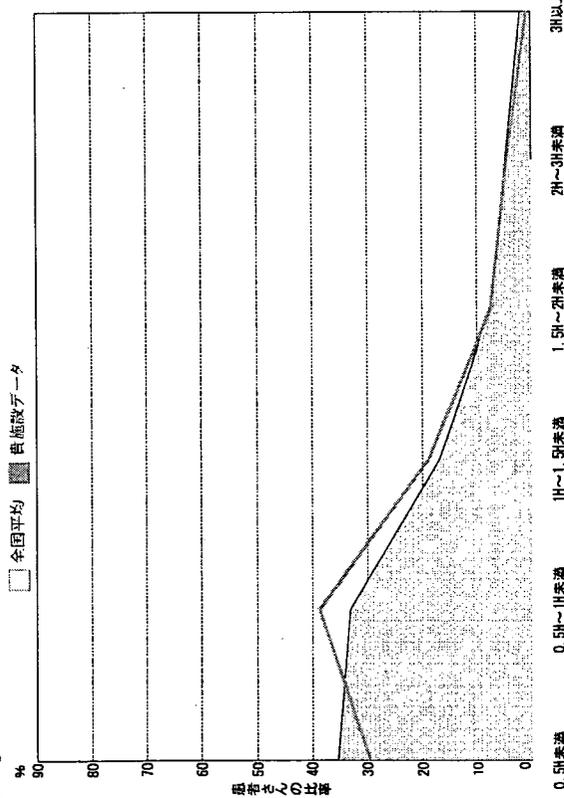
偏差値高い ↑ 外来 サービス実行ポイント ↓ 偏差値低い

10. 外来待ち時間 比較

- 1.) 外来待ち時間比較(右-図1)
 【解説】 外来待ち時間比較を示した。6つに区分された待ち時間の患者さんが同機能同規模施設平均と比較して、多いか少ないかがわかる。
 【使用したデータ】 外来調査票の待ち時間【データの重付け】 なし
- 2.) 外来待ち時間別満足度(右-図2)
 【解説】 外来待ち時間別に患者さんが評価したサービスの実行ポイントを示した。待ち時間の下は案件数である。
 【使用したデータ】 サービス実行ポイントと外来待ち時間のクロス集計。
 【データの重付け】 なし



【図1】



11. 経営施策と患者満足度の関係

1.) 経営幹部の時間投資と患者満足度(右-図1)

【解説】10の医療サービスカテゴリ各項目別に経営幹部が投資している時間と、実際の患者満足度を示す。横軸は経営幹部が自己評価で、10のクオリアライメント上のために使っている時間を%で示した。縦軸は入院と外来の病院満足ポイントを用いた。左下に偏っている項目は、経営幹部が少時間の投資で満足度の成果を得ている項目である。右下に偏っている項目は、経営幹部が時間投資しているわりには成果を得られない項目である。成果を得るための効果的な方法の見直しが必要である。

【使用したデータ】入院と外来の病院満足ポイント、経営時間投資比率。

【データの重付け】病院満足ポイントのみあり(以下同じ)

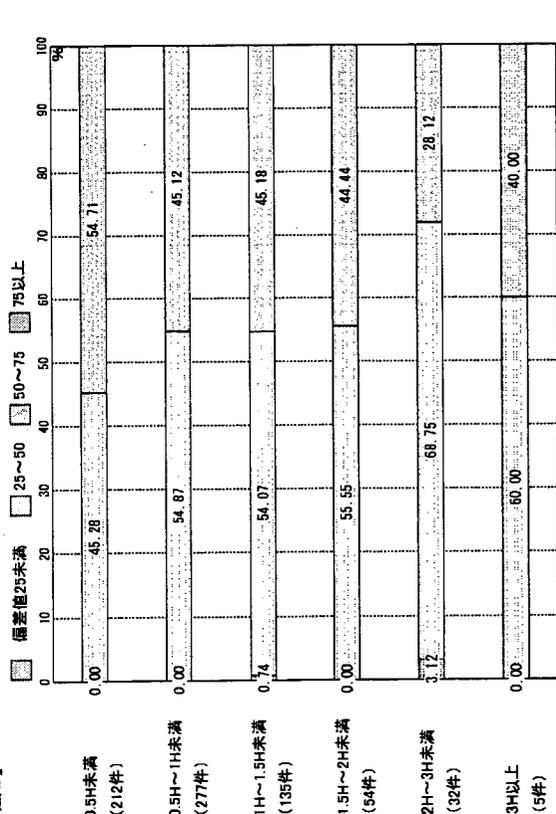
2.) 施策実行度と患者満足度(右-図2)

【解説】10の医療サービスカテゴリ各項目への施策の実行と患者満足度の関係を示す。横軸は最高15点で施策の実行度を自己評価してもらい、それを価値にした。縦軸は入院と外来の病院満足度平均値を用いた。右上に位置するものは、施策が患者さんニーズにジャストフィットしている項目である。右下は、施策が患者さんのニーズからはずれている項目である。努力が報われていないといえる。左上は、それはと努力はしていないのに、満足度が高い項目(タナボタ)、または非常に自己評価が低い項目のどちらかである。前者の場合は、患者さんが進化するによって期待が低くないといえる。後者の場合は、職員とサービスを作り出している人々への評価不足が懸念される。左下は患者さんニーズを無視している項目である。感度が激化する環境で、ここに位置する項目があるといふことは、施設存続の危険性である。

【使用したデータ】入院と外来の病院満足ポイント平均値、経営施策実行ポイント。

※グラフ特性により、表示数値とグラフ上のデータラベル位置が一致しない場合がある。

【図2】



項目ラベル	経営施策 実行度	時間投資 比率	入院		外来	
			グラフ ラベル	満足度	グラフ ラベル	満足度
コミュニケーション	40.49	5.00	①	42.74	⑪	42.88
職員能力	41.84	5.00	②	45.20	⑫	44.39
ていねいさ	42.08	5.00	③	43.13	⑬	38.44
反応のよさ	38.65	5.00	④	46.20	⑭	43.81
患者理解	51.57	10.00	⑤	45.75	⑮	44.78
入手容易性(アクセスの容易性)	52.00	15.00	⑥	42.08	⑯	37.23
プライバシー保護	59.17	15.00	⑦	48.15	⑰	47.22
信頼性	47.87	15.00	⑧	44.93	⑱	45.82
安全性	48.63	15.00	⑨	45.78	⑲	45.56
アメニティ	45.42	10.00	⑩	58.09	⑳	52.75

12.-2 外来 標準以上項目と標準以下項目

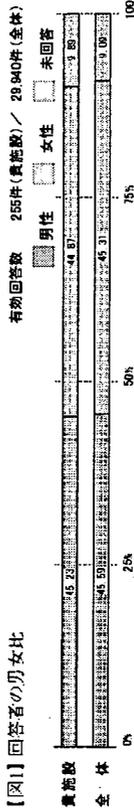
[データの事件数]なし

標準以上項目	標準以下項目	項目	標準値	順位
治療・処置中の痛み等への対応	痛みや不快感を訴えたが、対応してなかった		46.97	64
食事の時間	食事の時間が長すぎる。または短すぎる		46.97	52
医師スタッフの人間関係	スタッフの人間関係が悪く不安に思っていることがある		46.92	64
治療・処置の痛み等への対応	私の痛みや不安に、十分に気を配ってなかった		46.84	63
説明した点頭や資料	十分な説明なし。点頭や資料を渡されたことがある		46.84	37
点頭、資料に伴う痛み等	我慢できないうつみや不快感を感じたことがある		46.65	63
検査室の清潔	検査室が清潔でない		46.34	53
治療後処置の対応説明	検査室の清潔さ、検査の順番などが説明してなかった		46.31	56
私が待つ手助け	身体が動かせない、検査室の介助を十分にしてくれなかった		46.31	60
治療・処置中の本人確認	治療・処置の前に本人確認がなかったことがある		46.12	67
治療・処置中の本人確認	本人確認がなかった		46.00	38
リハのスタッフへの対応	スタッフは親切に動いてくれた		45.19	64
リハの設備・環境	治療・処置の環境が、適切な設備をそろえてなかった		45.16	66
氏名等の確認	氏名、病名、検査結果などを確認されたことがある		45.11	70
治療・処置中の不安	次に何をされるかわからない、不安に思っていることがある		44.95	65
医師の明確な説明	声がかた、聞き取れない、説明がなかった		44.80	69
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		44.37	70
医師との事前の対話	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		44.21	68
医師の事前の対話	医師の説明、私の痛みや不安を十分に聞いてくれた		44.08	63
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		44.05	70
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		44.05	70
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		43.96	70
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		43.87	68
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		43.78	71
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		43.35	70
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		43.05	70
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		42.65	68
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		42.39	73
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		42.00	75
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		41.92	67
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		41.88	72
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		40.30	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		39.90	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		39.90	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		39.26	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		38.99	77
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		38.55	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		38.34	77
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		38.27	69
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		38.52	77
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		38.15	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		36.14	75
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		35.67	74
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		35.24	76
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		34.10	75
検査室の清潔	検査室の清潔さ、衛生状態が良くないことがある		31.11	79

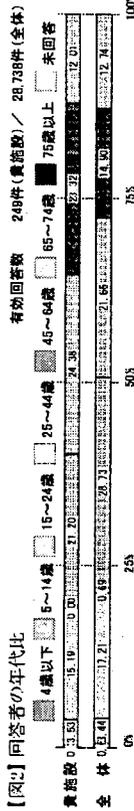
標準以上項目	標準以下項目	項目	標準値	順位
検査室の清潔	検査室が清潔でない		62.46	7
検査室の清潔	検査室が清潔でない		60.17	11
検査室の清潔	検査室が清潔でない		59.05	16
検査室の清潔	検査室が清潔でない		57.12	17
検査室の清潔	検査室が清潔でない		57.04	19
検査室の清潔	検査室が清潔でない		56.86	17
検査室の清潔	検査室が清潔でない		55.38	21
検査室の清潔	検査室が清潔でない		55.23	25
検査室の清潔	検査室が清潔でない		55.15	22
検査室の清潔	検査室が清潔でない		51.76	23
検査室の清潔	検査室が清潔でない		54.68	24
検査室の清潔	検査室が清潔でない		53.78	24
検査室の清潔	検査室が清潔でない		53.73	24
検査室の清潔	検査室が清潔でない		53.21	29
検査室の清潔	検査室が清潔でない		52.17	33
検査室の清潔	検査室が清潔でない		52.01	30
検査室の清潔	検査室が清潔でない		50.23	33

13.-1 入院プロフィール

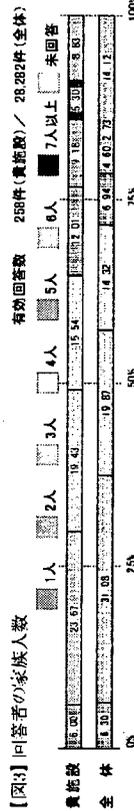
【図1】回答者の男女比



【図2】回答者の年代比



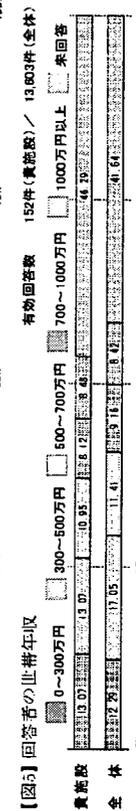
【図3】回答者の家族人数



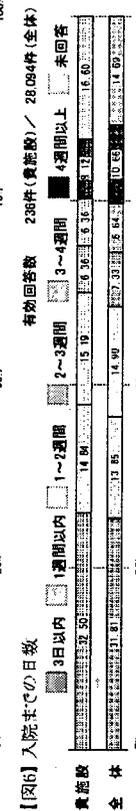
【図4】回答者の最終学歴



【図5】回答者の世帯年収



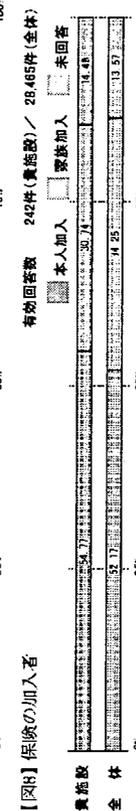
【図6】入院までの日数



【図7】保険の種類

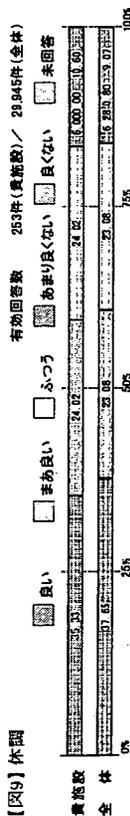


【図8】保険の加入者

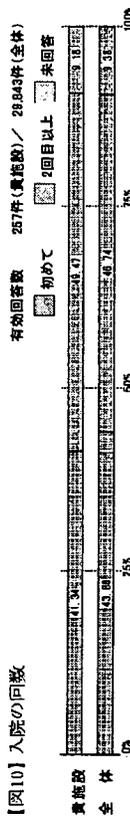


説明	割合	順位
治療/処置の必要性が大きい	42.09	61
必要がなくなった	41.95	62
医師の指示や看護士がいない	41.94	67
病室が狭い	41.88	66
自分が良くなった	41.51	59
病室の清潔さが気になった	41.39	62
医師の説明がわかりにくい	41.33	60
医師の対応がよい	40.88	63
説明がわかりにくい	40.87	62
説明がわかりにくい	40.80	64
痛みや不安がなくなった	40.61	65
治療/処置の必要性がなくなった	39.76	66
医師の説明がわかりにくい	39.67	67
説明がわかりにくい	37.78	70
説明がわかりにくい	37.30	69
守衛/受付/病室の清潔さが気になった	37.42	69
治療/処置の必要性がなくなった	33.85	71
検査/検査結果が気になった	32.54	71
検査/検査結果が気になった	31.27	70

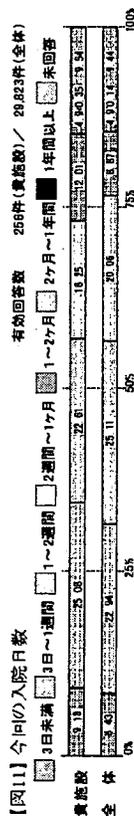
【図9】休調



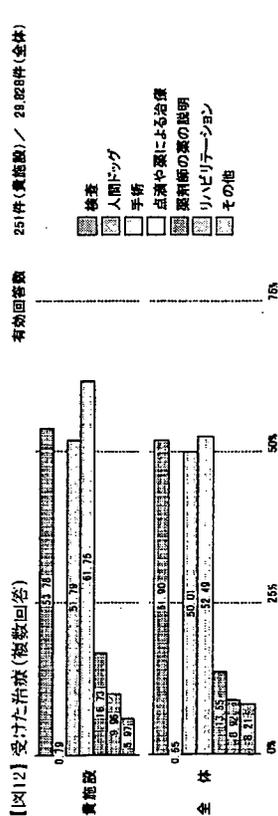
【図10】入院の回数



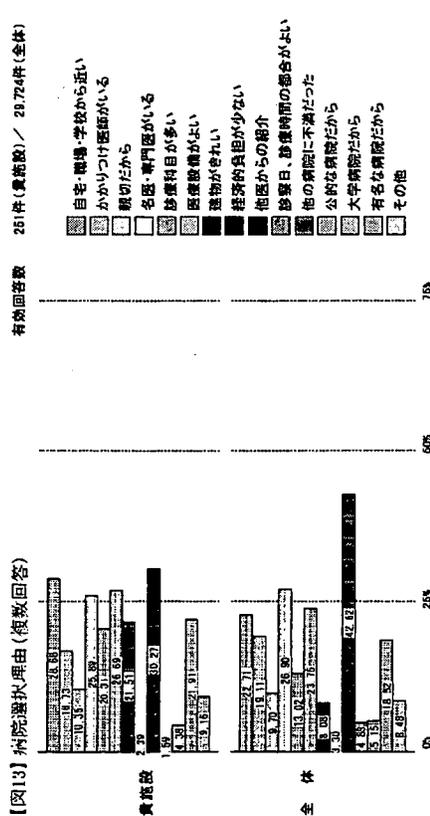
【図11】今回の入院日数



【図12】受けた治療(複数回答)

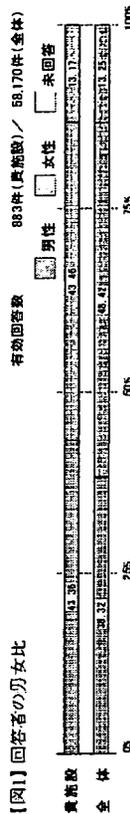


【図13】病院選択理由(複数回答)

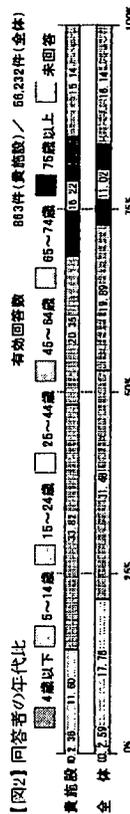


13.-2 外来プロフィール

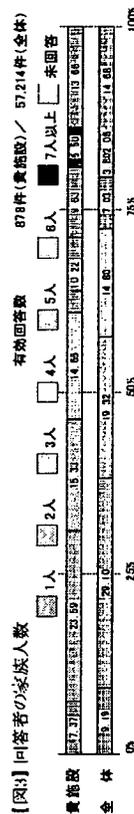
【図1】回答者の男女比



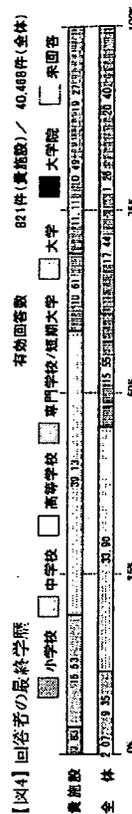
【図2】回答者の年代比



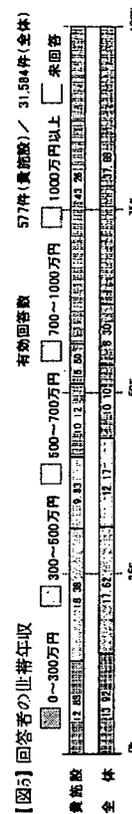
【図3】回答者の家族人数



【図4】回答者の最終学歴



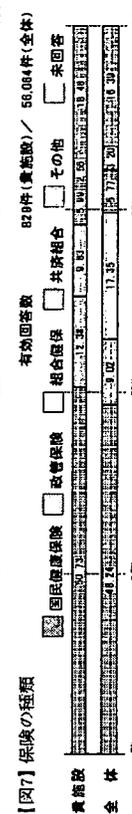
【図5】回答者の世帯年収



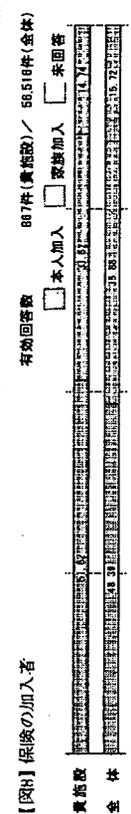
【図6】診察までの待ち時間



【図7】保険の種類



【図8】保険の加入者



14.-1 入院 自由記述

自由記述の記入率

項目	改善		良い点		その他	
	回答件数	回答率	回答件数	回答率	回答件数	回答率
貴施設回収数	283件	21.90%	60件	21.20%	19件	6.71%
全体平均			30.25%		15.69%	

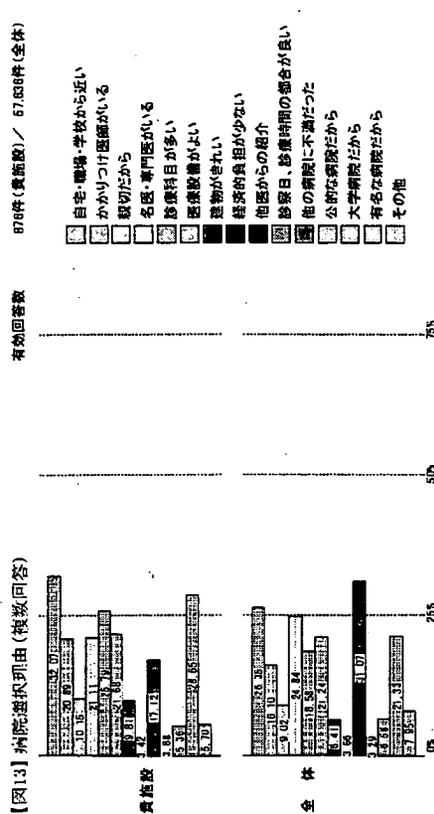
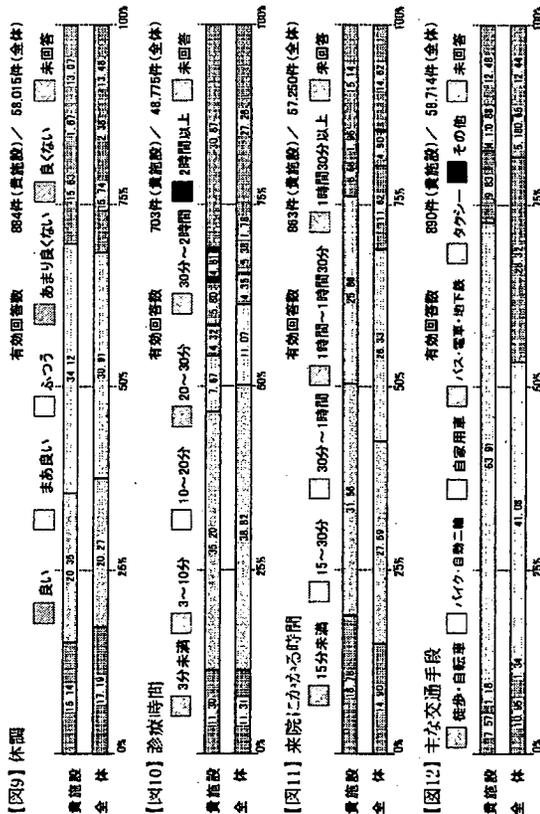
以下、省略。

14.-2 外来 自由記述

自由記述の記入率

項目	改善		良い点		その他	
	回答件数	回答率	回答件数	回答率	回答件数	回答率
貴施設回収数	1017件	18.97%	117件	11.50%	63件	6.19%
全体平均			21.40%	15.24%	8.54%	

以下、省略。



グループ病院報告

分類:自治体病院

調査参加施設

- 市立丁森市立病院
- 茨城県立中央病院
- 川口市立医療センター
- 埼玉県立循環器・呼吸器病センター
- 岐阜県立下呂温泉病院
- 静岡県立ニノノの医療センター
- 静岡県立総合病院
- 大阪市立総合医療センター
- 大阪市立北市民病院
- 市立堺病院
- 鳥取県立厚生病院
- 県立広島病院

入院部門 病院満足ポイント ランキング

【解説】 調査結果をもとにした、グループ病院における貴施設の偏差値を示している。
 【使用したデータ】 病院満足ポイント
 【データの重付け】 あり

入院部門 自治体病院グループ				2004年度3施設参加	
順位	偏差値	有効回答数	施設名	順位	偏差値
				1位	64.31
2位	63.40	144	大阪市立総合医療センター		
3位	58.30	505	埼玉県立循環器・呼吸器病センター		
4位	55.07	※※※	県立広島病院		
5位	53.90	※※※	※※※※※※※※※※※※		
6位	53.89	※※※	※※※※※※※※※※※※		
7位	47.15	※※※	※※※※※※※※※※※※		
8位	42.41	※※※	※※※※※※※※※※※※		
9位	41.73	※※※	※※※※※※※※※※※※		
10位	34.89	82	大阪市立北市民病院		
10位	34.89	※※※	※※※※※※※※※※※※		

外来部門 病院満足ポイント ランキング

【解説】 調査結果をもとにした、グループ病院における貴施設の満足度を示している。
 【使用したデータ】 病院満足ポイント
 【データの重付け】 あり

2005年度 12 施設参加		施設名		2004年度3施設参加	
順位	満足度	有効回答数		順位	満足度
1位	69.30	423	埼玉県立循環器・呼吸器病センター		
2位	61.88	1227	大阪市立総合医療センター		
3位	55.75	565	市立千歳市民病院		
4位	54.31	※※※	※※※※※※※※※※※※		
5位	52.83	※※※	※※※※※※※※※※※※		
6位	52.07	382	大阪市立北市民病院		
7位	51.99	※※※	※※※※※※※※※※※※		
8位	46.30	※※※	※※※※※※※※※※※※		
9位	45.38	※※※	※※※※※※※※※※※※		
10位	40.99	※※※	※※※※※※※※※※※※		
11位	34.21	※※※	※※※※※※※※※※※※		
11位	34.21	※※※	※※※※※※※※※※※※		

